

超音波による コンクリート凍害劣化点検技術

— 表面走査法 —

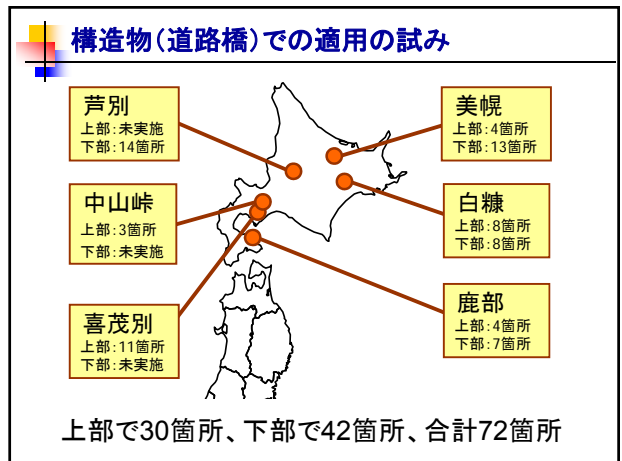
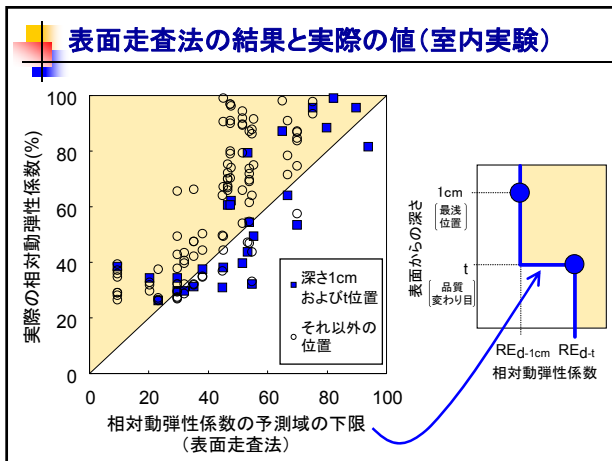
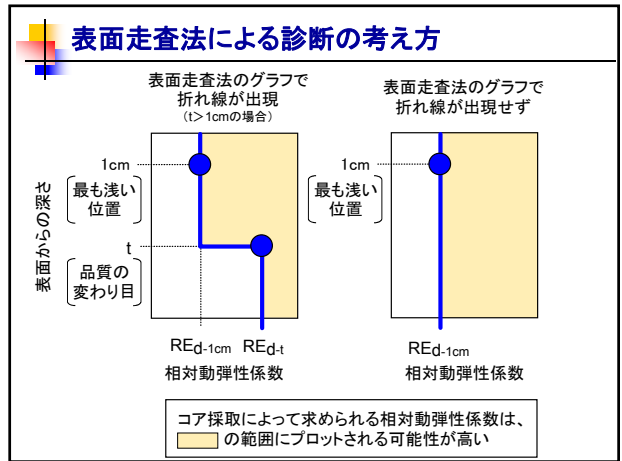
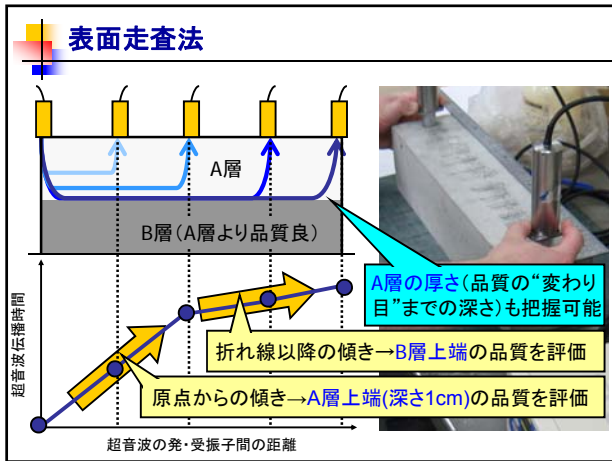
寒地土木研究所 耐寒材料チーム 遠藤 裕丈

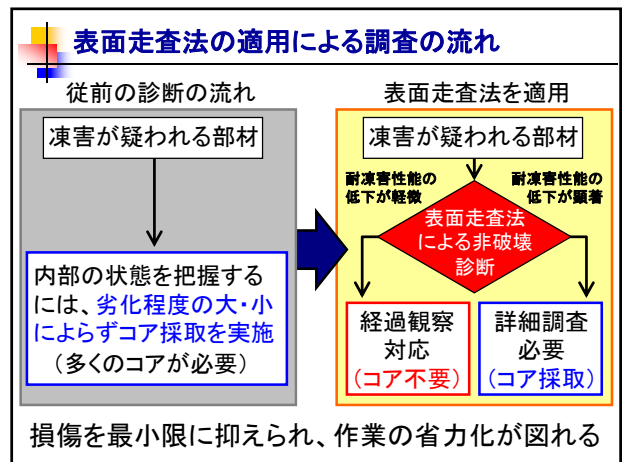
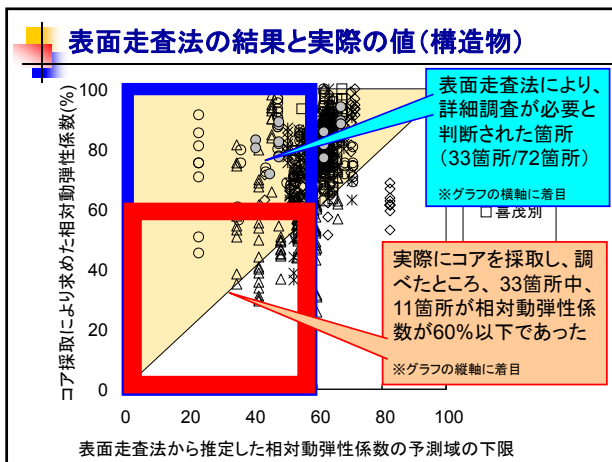
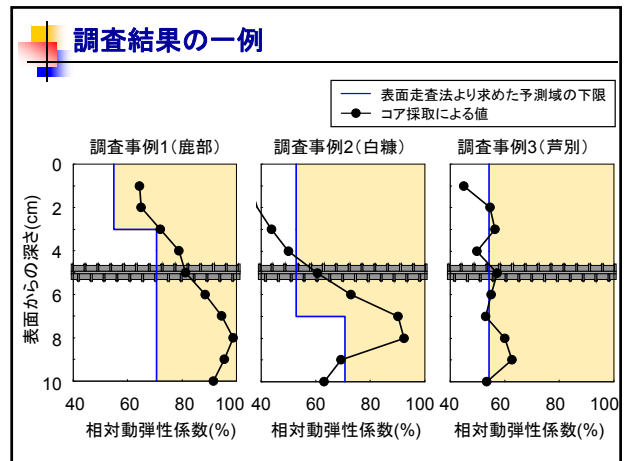
【一般的な凍害診断の方法】
コアを採取して、詳しく診断

【課題】

- 部材、鉄筋の損傷が懸念
- コスト、時間、労力を要する

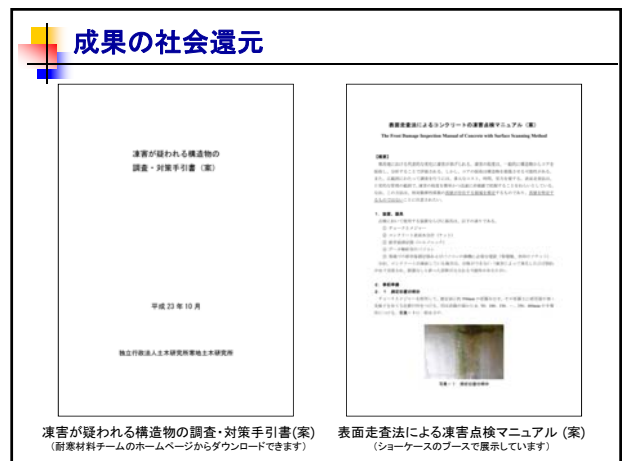
非破壊で簡便、迅速に診断できる手法が望まれる

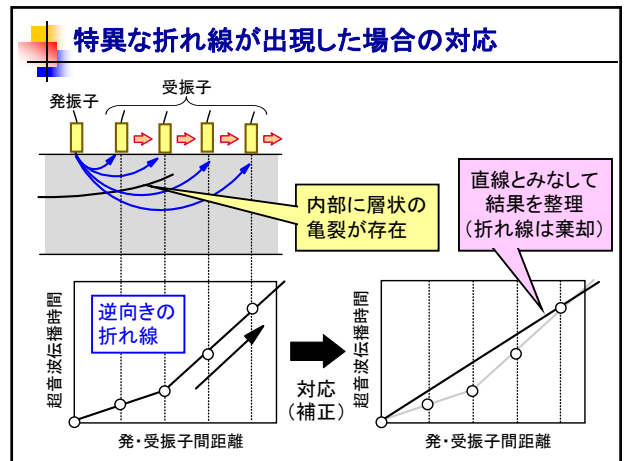
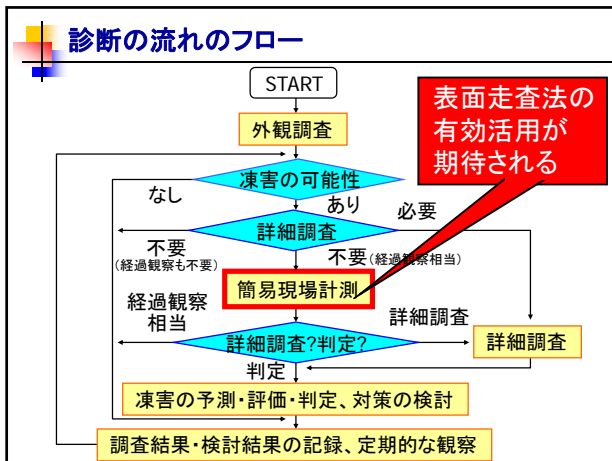




調査費の比較(今回の試みの場合)

		従前の流れ	表面走査法適用
数量	超音波(表面走査)	0点	72×8=576点
	コア採取(補修込み)	72孔	33孔
	超音波(透過法)	72×10=720点	33×10=330点
調査費用(従前を1とする)		1.00	0.55





ご静聴、ありがとうございました

お問い合わせ先
寒地土木研究所 耐寒材料チーム

担当 遠藤 裕丈
Tel 011-841-1719
E-mail 96199@ceri.go.jp